



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和5年12月14日 No.22

12月もあっという間に中旬に入りました。朝晩の冷え込みは厳しいですが、日中には、12月とは思えない温かさの日もあり、体調管理がとても難しいですね。残り一週間あまりで冬休みとなりますが、2学期をしっかりと締めくくるためにも、終業式まで気持ちを引きしめ、体調管理をしっかりと、楽しく元気に学校生活を送りましょう。

世界の国々の文化に触れました

12月1日に5年生が愛知県のリトルワールドに社会見学に行きました。

リトルワールドでは、世界の様々な国々の文化や風習が紹介されている博物館を見学した後、班別活動に入りました。班活動では各班が事前に決めた民族衣装を着て、カメラにおさめる体験をしたり、各国の食べ物を実食し、食文化に触れたりしました。

子どもたちは、日本と違う国の文化や風習に触れ、知ること、他国の文化に興味を持ち、もっと、他国のことが知りたいと多文化共生の心が芽生えていました。



図書館に新しい本が入りました

図書館に新しく入った本が図書館前の掲示板で紹介されています。

図書館に行って、読んでみましょう。また、冬休みの貸し出しの時に借りて、時間のあつ冬休み中にゆっくり、じっくりお家で読んでみるのもいいですね。



鈴鹿市美術作品展が開催されました

12月2日～12月4日まで、イオンモール鈴鹿で鈴鹿市美術作品展が開催されました。加佐登小からは、図画工作等の授業で制作した1年生から6年生までの作品が展示されました。1・2年生は共同作品でとても上手にできていました。市内30校の児童の作品が展示されており、土・日はとてもにぎわっていました。

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



6年生



美しい歌声がホールいっぱいに広がりました

12月8日に鈴鹿市音楽会が開催され、4年生が練習の成果を発表しました。

当日はバスに乗ってイスのサンケイホールに行き、他校の合唱や合奏を聴くことができました。

加佐登小学校の発表では、これまでの練習の成果を十分発揮して、歌詞に思いを乗せて一生懸命な気持ちが伝わってくる合唱や演奏ができました。とても良かったです。

本来ならば、12月6日の児童集会で全校みんなの前で4年生が演奏を披露する予定でしたが、集団かぜ予防のためできませんでした。そのため、12日のお昼休みに体育館で感染症対策を十分にとって、みんなの前で演奏を披露しました。音楽会本番と同様に、一生懸命に思いを伝えようとする、とても心に残る合唱と演奏を聴かせてくれました。



ベルギーの学校って、日本とどう違う？

12月8日に6年生の希望者がベルギーの日本人学校とMeetをつないで交流しました。

15時15分(ベルギーは朝7:15)から希望した児童たちは加佐登小に残り、現地の校長先生と鈴鹿市教委指導課の谷口先生から、校舎中を紹介していただきました。

トイレがとてもきれいで人感センサーで照明がつくこと、体育館が広いこと、緯度が高いため朝7:15でも外が真っ暗なことなど、日本との違いに興味津々でした。

また、希望者した児童は自宅からMeetで16:35から10分間、現地に住む日本人の児童生徒と交流をしました。さらに、18:35から10分間、職員や鈴鹿市教委の方々と現地に住む日本人の児童生徒たちと交流をしました。日本からはベルギーの見どころや学校の様子を、ベルギーの児童生徒からは日本のニュースや日本で流行っている曲のことなど、お互いに聞き合いました。

交流の中で、日本以外で暮らしている日本人から、現地のことを教えてもらうだけでなく、外から見た日本について聞くことで、日本で住んでいて、気づかないところを知ることができました。



12月『加佐登小 人権の日』

11月11日～12月10日は「差別をなくす強化月間」です

安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』を目指して、毎月10日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切に」日とし取り組んでいます。

さて、国では12月4日から12月10日まで「第75回人権週間」でした。この期間に合わせ三重県では、11月11日から12月10日まで「差別をなくす強化月間」として、お互いの人権が尊重されるまちづくりを目指し、様々な取り組みが行われています。

加佐登小学校でも、11月に引き続き、ピンクシャツ運動やいじめ・差別について考える日としました。

普段の学校生活の中で、次のようなネガティブな言葉がけや行動をとっていませんか？

- きつい口調で言葉を発することはありますか？
- 人の容姿や行動について、面白がってからかったり、いじったりしていませんか？
- 一人の人に複数人で一人の人の嫌がること(攻撃)をしていませんか？
- 一人対複数人の状況を見たとき、「関係ない」と傍観者になっていませんか？

上記のような言葉がけや行動にあふれていると、クラスや学校全体が暗く、嫌な雰囲気となってしまいます。

「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」といったあいさつも含め、相手のことを思いやる、元気で勇気が湧いてくる言葉がけや行動ができると、クラスや学校全体が明るい雰囲気となり、みんなが楽しく笑顔で学校に来ることができると思います。

そして、日ごろから「友だちを大切に、自分を大切に」する言葉がけや行動ができているか常に自分自身を振り返りながら行動をしていきましょう。

